

開講年度	2024	開講学期	秋学期
科目コード	ZG0247	授業コード	45209
科目名	英語の音声	開講曜日・時限	金曜2限
担当教員名【代表】	石野 尚		
担当教員			
授業形態	講義		
単位数	2単位		
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。		

授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声学の基本的な知識（各音の特徴や発声法、音がつながっておきる変化）を身につけて「実践的な音声学」を学ぶ。 2. 音声記号の理解に基づいて発音を練習し音声表現力を向上する。 3. 日本語の音との比較を通して、音声を学ぶことへの関心を高める。 4. 英語の音やリズムに親しみ、発音を改善し、自信を持って話せるようになることを目指す。
-------	---

授業の内容

①能力開発メソッド	発音練習・リスニング・グループワーク・分析力
②課題レポート等	次週のキーワードを調べ、論点を整理しておく。 授業後は振り返りを記述し、テキストの問題を復習する。 全回を通して最も印象に残った回を一つ選び、期末にレポートを作成する。
③授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予習（キーワードを調べる、論点を整理しておく） 2. 前週の内容の復習ミニクイズに取り組む。 3. 教員による解説（音声学の基礎知識について講義形式で学ぶ） 4. ペアワークやグループディスカッションで知識を実際の発音練習につなげていく。 5. 復習（テキストの問題を確認し、振り返りで授業の要点や自分の意見をまとめる力を養う）
授業時間外学習	<p>所定の時間外学習の時間を用いて予習と復習に取り組む（各回60分程度）</p> <p>クラス内で様々なアクティビティを通して、英語の発声を練習していくが、発音練習を効果的にするには、各自で音声ファイルを聴いて十分に練習することが必要（各回30分程度）</p> <p>期末レポートを作成する。（120分程度）</p>

授業計画

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	イントロダクション 英語の音声記号 能力：分かりやすい発音ができる（以下同じ）	本講義の目的、進め方、評価方法の説明 英語の音声とつづりの関係について	◆発音学習について目標を立てる。 テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
02	知識／能力	音を生成する	発音に用いる部位を確認する。 子音と母音の違いは何かを学ぶ。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
03	知識／能力	子音① 閉鎖音・鼻音・摩擦音 の特徴と発音練習	子音（閉鎖音と鼻音、摩擦音）の特徴を学ぶ。 発声を練習する。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
04	知識／能力	子音② 破擦音・接近音の特徴 と発音練習	子音（破擦音と接近音）の特徴を学ぶ。 発声を練習する。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
05	知識／能力	母音① 前舌母音・後舌母音の 特徴と発音練習	母音（前舌母音と後舌母音）の特徴を学ぶ。 発声を練習する。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
06	知識／能力	母音② 二重母音・中舌母音の 特徴と発音練習	母音（二重母音と中舌母音）の特徴を学ぶ。 発声法、音声記号のまとめ	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
07	知識／能力	音声記号まとめ	前半の振り返り、IPAカードゲーム、発音演習	◆前半の学修状況を振り返り、後半に向けた目標をたてる。 テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
08	知識／能力	音節と子音連結	日本語との比較を通して、音節の分け方、子音連結の特徴を学ぶ。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述

09	知識／能力	英語の音で遊ぶ	英語の詩、歌、早口言葉に親しむ。 頭韻と脚韻の規則を理解する。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
10	知識／能力	強勢、弱形 異音	ストレスと弱形にみる英語音の特徴を身に付ける。 音韻規則と異音、ミニマルペアを学ぶ。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
11	知識／能力	英語らしいリズム	英語の自然なリズム、文の強勢を身に付ける。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
12	知識／能力	音の変化（連結・脱落・同化）	隣接する二音で起きる音の変化を学ぶ。 連結、脱落、同化の区別を理解する。	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
13	知識／能力	音の変化（連結・脱落・同化）	様々な音の変化の分別と練習	テキストの予習と復習、発音練習 授業後の振り返り記述
14	知識／能力	イントネーション（抑揚）の重要性	話者の意図を表すイントネーション、音調パターンを練習する。	◆自分の発音課題について長期的な学修計画を立てる。 授業後の振り返り記述
15	知識／能力	期末まとめ	コースの振り返りと期末まとめテストの実施	コースを振り返り、学んだことを確認する。

到達目標と学習成果

①知識レベル	音声学の基本的な知識（音を表現するための方法（＝音声記号）、英語の各音の特徴、隣接する音がつながっておきる音変化の規則、英語らしいリズムやイントネーション）を身につける。
②能力レベル	・発音表記を確実に読み書きできる。 ・音の変化を身につけ、分かりやすい発音で自信を持って発表できる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	2	プレゼンテーション		リーダーシップ		行動力	
創造力		計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力	2	社会的責任	1				

成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の振り返り記述(30%) ・授業への積極的参加(15%) ・期末レポート(15%) ・期末テスト(40%) <p>*発表回数に応じて加点をします。</p> <p>A評価：講義内容を十分に理解し、応用する力を身につけている。自分の意見を的確に発信することで他者の学びにも貢献できている。</p> <p>B評価：講義内容を十分に理解し、知識を身につけている。自分の意見をまとめ、多様な振り返りができている。</p> <p>C評価：講義内容を理解し、科目の設定する目標を達成している。自分を認知する振り返りができている。</p> <p>D評価：講義内容を理解し、各課題にもれなく取り組んでいる。</p>
------------	--

教科書	Discovering English Sounds - Phonetics Made Easy - （発音指導と音声学の融合） CENGAGE Learning (2014) 978-4-86312-240-6
-----	---

参考図書	適宜プリントを配布
------	-----------

授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。
--------------	----------------------

備考	受講者数によって授業予定が変更したり、受講者の人数制限をする場合があります。
----	--